

事業名 : IT 技術入学式 in 千歳

事業報告 :

1.本プロジェクトの背景

Unix/Linux は今や基幹システムからクラウドサービスまで幅広く使われ、サーバ出荷台数でも高い成長率を維持しつづけており、実務での Unix/Linux 操作の需要は増加しているが、Unix/Linux サーバの操作や構築方法を学習する環境と機会が非常に少ないのが実状である。また、これらのサーバ関連技術はセキュリティ実務でも重要である。しかしながら操作技術習得という漠然とした目標だけでは学習者のモチベーションは維持しづらい。そこで、年に一度、競技形式のセキュリティイベントを開催し、そのイベントでの成績向上という総決算を目標に学習者各自が自発的に訓練していく体制の構築を目指して、道内の産学官各所と連携して進めている。

2. 本プロジェクトの取り組み

本プロジェクトでは、実務的観点でのインターネット運用技術者の啓蒙・発掘を目的として、Unix/Linux オペレーティングシステム(以下 Unix/Linux)の操作技術を学ぶ講習会を千歳市で実施した[1]。次のステップとして操作技術を情報セキュリティに活用する講習会を実施した[2]。また、これらの講習会の学習成果を発揮するイベントとして Micro Hardening for Youth(以下 MH4Y)との企画・開催に協力した。MH4Y は地域連携の一環として、主催:北海道地域情報セキュリティ連絡会(HAISL)/北海道警察サイバーセキュリティ対策本部、提供:株式会社川口設計、協力:公立千歳科学技術大学 / 苫小牧工業高等専門学校 / 一般社団法人 LOCAL という産官学が連携した枠組みで企画したセキュリティ競技会である。MH4Y は、若者向け啓蒙活動という意味あいを含めて、道内在住 30 歳以下という条件で募集したところ、学生を中心に社会人も含め 60 人あまりが参加し、熱心に取り組んだ(図 1)。MH4Y 実施後は、反省や今後の学びにつなげるために振り返りの会[4]を実施した。また、この次シーズンへ向けての活動の第一段として、セキュリティ実務に関連したセミナー(図 2)を開催した。

サイバー攻撃から守れ

セキュリティ技術競技会の講習会

科技大生ら対処法学ぶ



外部攻撃からの対処策を話し合う参加者

北海道地域情報セキュリティ連絡会と道警は28日、ネットワークの外部脅威(サイバー攻撃)からのセキュリティ技術の競技会「マイクロ・ハードニングフォーユース」(11月16日、道警本部)参加者向け事前講習会を公立千歳科学技術大で開いた。同大の学生や社会人12人が参加し、

ネットサイトを不正アクセスなどから守る方法を学んだ。競技会は、30歳以下の社会人や学生を対象とし、啓蒙(けいもう)を目的に初実施する。イベント運営には同大が協力。参加者は、架空のネットワークシミュレーションの運営者役を担い、商品の改ざんや不正ログインなどが自動で行わ

れるサイバー攻撃に対処することが求められる。毎回、決まったタイミングで同じ攻撃が発生するように設定されており、挑戦するたびに、少しずつ対処法を試しながら短時間で経験を積める。参加には、ネットワークの設定を行う予備知識が必要のため、初心者向けに千歳と札幌で事前に講習会を実施し



ビート収穫最盛期

天候恵まれ大きく育つ

千歳市内の畑作農家で、佐々木農場(佐々木雅宏代表)の収穫が始まった。幌加の畑でも作業が最盛期を迎え

ている。同大情報システム工学科の専任講師、深町賢一さんは「ネットシミュレーションでは、客がサイトに1秒でもアクセスできないと大きな損害が出る」と指摘。ネットワークなどの構築や運用を行うインフラエンジニアの業務に「興味を持つてほしい」と説明した。参加者は、3チームに分かれてホームページにアクセスが不能となる演習問題に取り組んだ。「芸能人のホームページでも似た例があった」「データのログ(記録)を見たら、操作の痕跡が分かるのでは

ている。今年には天候に恵まれ生育も進んだため、出来秋への期待が膨らむ。今年には昨年と同規模の12畝を付け付けた。3月中旬に種まき。ハウスで育苗し5月上旬に畑に移植した。収穫は28日に始まった。雨もなく作業は順調。ビートは根周が太く、糖度も高いという。ビート1個の重さは1.5〜2.5kg。試算では同農場で今年収穫する800kgのビートで130kgの砂糖が生産されるとい

と経験やアイデアを出し合いながら、解決策を探った。道警サイバーセキュリティ対策本部の担当者「将来、いろいろな職に就いた際にもコンピュータセキュリティを意識して仕事をしてみたい」と参加者に期待している。

畑でビートを掘り起こすハートベスター。千歳市幌加同農場の佐々木亮介さん

図1:千歳民報 2019年10月31日掲載記事

公立千歳科学技術大学

情報セキュリティセミナー

実務よりのセキュリティの話題を取り上げるセミナーです

日時 令和2年2月5日(水)午後4時～午後5時30分
会場 千歳市民文化センター 3F 中会議室1
定員 40名(参加料:無料)
対象者 経営者の方、総務、情報システム、社内教育担当の方

16:00-16:05 開催のご挨拶

16:05-16:15 公立千歳科学技術大学と北海道警察サイバーセキュリティ対策本部の取り組み

講師：船橋哲哉（北海道警察サイバーセキュリティ対策本部）

内容：現場ではセキュリティ人材不足といわれています。本学と道警が連携して取り組んでいる若手（学生や新入社員等）人材の発掘・啓蒙の取り組みについて11月に行ったイベントの話を中心に御紹介します。

16:15-17:15 情報セキュリティ事故発生後の法的対応と経営リスク

講師：吉井和明 弁護士（福岡県弁護士会登録）弁護士法人ALAW&GOODLOOP

内容：情報セキュリティ事故に関する各種裁判例を紹介するとともに、事故後の対応が経営に与える影響についてお話しします。

17:15-17:30 質疑応答、クロージング

(図 2) セキュリティ実務に関連したセミナー

- [1] Perl 入学式 in 千歳 <https://perl-entrance-chitose.connpass.com/>
- [2] MH4Y 事前講習会 in 千歳 <https://mh4y.connpass.com/event/151918/>
- [3] セキュリティをゲーム感覚で学べる競技会 <https://mh4y.connpass.com/event/148497/>
- [4] MH4Y-2019 振り返りの会 <https://mh4y.connpass.com/event/156838/>